

施策	1201 上水道の整備・管理						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	効率的かつ安定的な水の供給、水道統合事業の推進、既設管路の適切な維持・管理・更新等を図る。						
成果指標	行政区域内普及率 5年間(H25～H29)普及率91.0%(現状値89.4%) 有収率 5年間H25～H29)有収率80.0%(現状値76.1%)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定	88.50	89.10	89.70	90.30	91.00
		実績	89.40	90.50			
	成果指標2 [ % ]	予定	77.70	78.30	78.90	79.50	80.00
		実績	75.90	76.10			
		単位コスト	48,921.53	54,805.15			
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	4,263,222	3,969,355	0	0	0	
	実績	3,713,144	4,170,672			0	
内 部 評 価	貢献度	全ての事業を遂行することにより、基本施策が目指す安全で良質な水の安定供給を図ることができる。					
	達成状況	普及率は達成しているが、有収率については未達となっている。					
	課題	配水管や施設は年々老朽化しており、配水管の布設替え等が老朽化のスピードに追い付かず漏水等が少なくなっていない。また、未普及地域の解消が必要である。					
	取組方針	老朽化し漏水の多い配水管や施設を計画的に布設替えや改修を行い、また、水道未普及地域は、地元との打合せ・調整により普及を促進し事業の実績向上を図る。					
外 部 評 価	<p>成果指標の普及率については、順調に推移している。引き続き普及率の向上に努められたい。</p> <p>今後の課題は、漏水対策である。貴重な水資源が無駄にならないよう、計画的な老朽管の布設替えを行い、事前に漏水を防いでほしい。また、水道施設の維持管理を適切に行い、安全で良質な水の安定供給を図られたい。</p> <p>さらに、貴重な水資源を確保するためには、適切な森林の管理や河川、調整池、水田の管理等も必要と思われる。行政の横断的な協力体制の構築も望む。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	153201	専用水道事業等委託費				1,471	100
	461101	水道事業管理事業費 [ 総係費 ]				228,390	100
	461201	その他営業費用				0	100
	461301	消費税				64,868	100
	461401	雑支出				0	100
	461501	過年度損益修正損				3,190	100
	461601	予備費				0	100
	461701	支払利息				243,516	100
	461801	水道事業会計補助金(簡易水道施設等)				86,077	100
461903	国庫補助金返還金				848	100	



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計		款項目		予算事業コード	464304	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策	
事業名	管路耐震化事業費											主	1201	安全で良好な水資源の確保	上水道の整備・管理	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 水道工務課 工務担当 建設管理チーム						担当者	福田健治				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	地方公営企業法 水道法				事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	783,000	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 管路の耐震化を図るため、耐震管への布設替えを行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 安全な水道水を安定的に供給する。								
							成果目標	行政区域内普及率 5年間(H25~H29)普及率91.0%(現状値89.4%) 有収率 5年間H25~H29)有収率80.0%(現状値76.1%)								

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容 その成果		事業費・指標の推移	事業費	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
			平成25年度		平成26年度											
			【事業内容】 ・都賀町平川地内配水管布設替工事(都賀) ・西方町金井地内配水管布設替工事(西方) ・配水管布設替設計業務委託等 【成果】 都賀地域及び西方地域のVP管を約1.5Km布設替えを行った。		【事業内容】 ・都賀町平川地内布設替工事(都賀) 【成果】 都賀地域のVP管を約100m布設替えを行った。											
国庫支出金	0															
県支出金	0															
地方債	0															
その他特財	0															
一般財源	58,874	4,385														
事業費 a	58,874	4,385														
人件費 b	2,299	2,544														
減価償却費 c		0														
総事業費 a+b+c	61,173	6,929														
結果指標 1	10.00	14.00	漏水件数	漏水件数(平成26年度目標 9.9か所)			件									
結果指標 2	112.00	98.20	VP管布設替延長	VP管布設替延長(平成26年度目標 98.2m)			km									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 配水管を耐震化することにより、大地震にも漏水事故の危険性を減らし、水道水を安定して供給することができる。 また、漏水が減少することにより無駄な費用を抑えることができコストも削減される。															
事後評価備考																

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計		款項目		予算事業コード	464601	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他		基本施策	単位施策	
事業名	栃木市水道統合事業費											主	1201	安全で良好な水資源の確保	上水道の整備・管理
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 水道工務課 工務担当 建設管理チーム						担当者	福田健治					従		
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	水道法 地方公営企業法			事業期間	H26 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	3,850,000	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 水道事業の統合に伴い、安全・安心な水を安定的に供給するため、浄水・配水施設等の整備を行い、各施設間のネットワークを構築する。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 安全・安心な水を安定的に供給する。							
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込		成果 施策 目標	行政区域内普及率 5年間(H25~H29)普及率91.0%(現状値89.4%) 有収率 5年間H25~H29)有収率80.0%(現状値76.1%)									

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 その成果	平成25年度		平成26年度											
	県支出金		0		【事業内容】 ・送配水管布設工事(大平) ・配水管布設工事(都賀町) ・藤岡甲浄水場改造工事(藤岡)等 【成果】 浄水場間のネットワークを構築する連絡管を大平及び都賀地域で行い、また、藤岡甲浄水場を蛭沼浄水場からの受水に改修した。													
	地方債		0															
	その他特財		0															
	一般財源		119,189															
	事業費 a		119,189															
	人件費 b		8,479															
減価償却費 c		0																
総事業費 a+b+c		127,668	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地						
結果指標 1		2.27	管路布設延長	管路布設管延長 (平成26年度目標1.4km)	km								妥当	有	適正	有効	無	有
結果指標 2		1.00	整備箇所数	整備箇所数 (平成26年度目標 1箇所)	箇所													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 各施設間の浄水・配水施設を整備することにより、安全・安心な水を安定的に供給することができる。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--